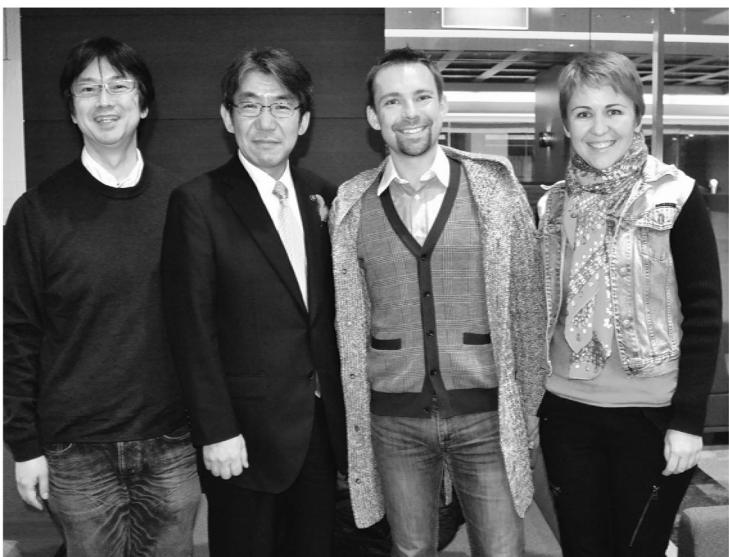


▽建築板金 宮下浩徳／の大谷道議のあいさつに



釧路市内のホテルで面会した石井さん、蝦名市長、エゴール夫妻（左から）

学習の楽しさを知つて 「ピア」モノづくりに挑戦

ラントを楽しんでいた。

特に今回は、子どもたちに生涯学習の楽しさを味わつてもうおつと、手づくりのがモノ作りに挑戦して、立体制的な模型を製作してモノづくりの楽しさを感じさせた。

ジオを作れる「君がつくる！」かんたんラジオ」などが

行われ、大勢の子どもたちがモノ作りに挑戦して、アルミパーツを組み立てて、立体制的な模型を製作してモ

ロシアで旅行関係の雑誌編集に携わるエゴール・アポロノフさんと妻のアナさんが7日から3日間の日程で釧路市を訪れ、食や自然の魅力を取材した。観光庁の招聘（しようへい）事業に伴い初来日したもの

や大人と子どもが楽しめる「室内オリンピック」など、のほか、料理作りや編み物、生け花、茶の湯など多彩なイベントが繰り広げられ、大ホールではフラフェスティバルが開かれるなど、会場のまなぼつと幣舞は終日、多くの人でにぎわった。

10日も午前10時から、多彩なイベントが行われる。問い合わせは（同実行委事務局）0154（41）8181へ。（奥山哲也）

エゴールさんは、ロシアの旅行版雑誌の編集長。アナさんはロシアのトランステアエロ航空の機内誌の旅行担当編集者。観光立国推進有識者会議の委員で北海道観光振興機構のアドバイザーでもある釧路湖陵高校出身の石井至さんも通訳として同行している。

エゴール夫妻は4日来日。東京滞在の後、7日来釧路阿寒湖アイヌシアターイコロで「イヨマンテの火まつり」を鑑賞するなどアイヌ文化について取材。8

日には阿寒湖遊覧船に乗船したほか、地元の彫刻家と（高田薫）

ロシア旅行雑誌

編集長夫妻が来釧

人や自然、食の魅力取材

活用したバイオガス発電の推進、鶴居村は道営草地整備事業の継続などを求めた。支部長

実現していきたい」と理解を示した。小松道議は特に地域資源の有効活用につい

て、蝦名大也市長とも面談し「これ以上の良い経験はありません」と感想を語った。

エゴールさんは、ロシア最大の日刊紙コメルサントと面会。エゴールさんは「阿寒湖のホテルの素晴らしい対応などおもてなしの心に感激した。日程はハードだが頑張つて取材し日本をさらに理解したい」と意欲を

語り、蝦名市長も釧路の魅力をアピールし、写真集と地酒をプレゼントした。

世界各國を知るエゴールさんは本紙の取材に対し、国特別天然記念物マリモが生息する阿寒湖の世界自然遺産登録運動が進んでいたことについて、「マリモは特別な存在であり、阿寒湖が選ばれるチャンスは十分ある」との見解を示した。

（高田薫）

面談。丹頂鶴自然公園でタンチョウを観察した。夫妻は同日夜に蝦名市長と面会。エゴールさんは「阿寒湖のホテルの素晴らしい対応などおもてなしの心に感激した。日程はハードだが頑張つて取材し日本をさらに理解したい」と意欲を

を示した。小松道議は特に

地域資源の有効活用につい

て、蝦名大也市長とも面談し実現に向け意欲を示す伊東

支部長

を示した。小松道議は特に

地域資源の有効活用につい

て、蝦名大也市長とも面談し実現に向け意欲を示す伊東